

---

# 俺とあいつと完璧超人と

赤井 林檎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺とあいつと完璧超人と

### 【Nコード】

N5246P

### 【作者名】

赤井 林檎

### 【あらすじ】

俺の名前は藤井雄ふじい ゆう

落ちこぼれで悩んでいた。

しかし、なぜか、学園の生徒会に招待され、生徒会に入ることとなったのだ

そこにいた美少女。

生徒会長の椎名 麗香。

お金持ち・美少女・成績一位の完璧超人だ。

俺は彼女に恋をするのだったーーーー・・・・・。

## 第1章 出会い

「はぁ・・・」

俺の名前は藤井 雄。

正直落ちこぼれた。。

今回の入学テスト。。

数学15点とつままった・・・どうしよう。。

母ちゃんに元気にとっても言える点数ではない。

むしろ、怒られる覚悟で。。

「はぁ」

またため息をつく。

なにかいい方法は・・・

俺の部屋から投げる⇒結果 見つかりよけい怒られる。

俺の部屋からびりびりにし投げる⇒結果 よけい怒られる

ゴミ捨て場に行き、捨てる⇒結果・・・いけるんじゃないか  
?!

そうだよ！

ゴミ捨て場に行けば・・・

でもうちはマンションだから・・・

少し遠くのゴミ捨て場行かないとな。。。。

うちの前のマンションだとばれる。。。

こうして・・・俺はゴミ捨て場で捨てるゾ★作戦を決行したのだ  
った。

---

今日は燃えるごみの日！

うっひょーい！

捨てに行くぞ。。。

俺は家を朝早くに出て、先を急いだ。

家から一番近くて

家のマンションのところじゃないゴミ捨て場はここか。。。。

そこは

高級住宅地がいくつも並ぶ、高級住宅街。

この辺りではとても有名だ。

さっさと捨てて・・・帰ろう

「がさがさ」

人のゴミ袋の中にテストの答案用紙を入れた。。。

これで完了。。。

「ちょっとあんた」

後ろからかわいらしい声が聞こえた。

「・・・？」

「そこのあんただつつんってんの?!」

お・・・俺?!

「俺。。。ですか？」

くる・・・と振り向くと、

綺麗な髪。

少し金髪。

青っぽい眼。

小さめ・・・143cmくらい。。。

簡単に言うと・・・美少女が立っていた。

「何みてんの? キモいんですけど」

「す・・・すみません」

思わず143cmの女の子に謝ってしまう・・・  
162cmの俺。

「そのゴミ袋．．．．私のゴミ袋なんですけど．．．」  
「あ」

さっきテストを入れたゴミ袋。。。。

「何してたの？」

「あ．．．．いや．．．．あっと」

言えない。。。。

「キモ。。。。変態かよ、こいつ」

思わず小さな声でしゃべる女の子、。。。。

あれ．．．．

この顔と声どっかで．．．．

って俺変態に間違えられてる?!?!!

「俺．．．．変態じゃないです！」

思わず敬語に、大きな声で言ってしまった．．．。

俺は顔が真っ赤になり

息はぜえぜえ。。。。

そのことでなぜか大きく警戒心が解けたようだった。。。

「じゃあ．．．何？」

テストなんですけど!なんて．．．言えない。。。。。

でも

変態にされる!!!!

「て・・・テストを」

「テスト?!」

ああ・・・

言っちゃったよ・・・俺。

「何点だったの？」

普通に聞いてきた。。。。

「15点・・・」

それを聞こえる程度に  
小声で言った。

すると

「ブハハハハハッ!!!!!!」

大声で笑った

腹を押さえ、半泣き状態。

顔は真っ赤でいかにも笑ってますって感じの。。。。

「15点だって?!」

笑って聞く彼女に俺は警戒心が解け



「うん！そうなんだよ！うけるだろ？」  
「うん！ウケる！！！！！」

と

とても笑った。

腹を押さえてとつても……………

しばらく時間がたち、  
だいぶお腹は痛くなくなったころ。

彼女が

「気に入った！あんた名前は？」

俺は正直うれしかった。。。。

「名前は…………藤井…………雄」

俺は少し驚きながら答えた

「雄？雄ね！よろしく！」

にこにことしている彼女は可愛かった。

「その制服だと…………同じ学校みたい」

俺はこの言葉に  
運命って奴を感じた。



落ちこぼれの俺だが・・・生徒会の仕事をがんばったら  
成績アップの可能性が。。。。。。。。。

「うん！俺やるよ！」

「あはは！さっき聞いたツーの！」

そして俺は  
生徒会の座と彼女への特別な想いをいっぺんに抱いてしまったのだ  
った。。。。。

## プロローグ

世界には完璧超人もいれば

普通な人間もいるし、ぜんぜん何も出来ない奴だって存在する。

俺は何も出来ない奴だと思う。

ただ・・・

いつか、あいつに思い知らされる事となる。

俺はあいつから見れば

何も出来ない人間・・・いや、ただのカスだろう・・・。

俺はただのカスで

あいつはただの完璧超人なのだ。

ただ・・・

俺はあいつを見ていることしかできないのだ。。

俺はあいつに想いを抱いてしまったのだ。

この想いは

あいつに伝えられるのだろうか・・・？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5246p/>

---

俺とあいつと完璧超人と

2010年12月16日05時46分発行